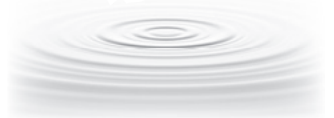


河川水質調査結果

市内河川の水質はおおむね良好

—7月は河川愛護月間です—



◆10河川の水質を調査

市では、毎年市内を流れる10河川の水質の調査を行っています。調査は、小野川が年12回、他の川は年6回実施しています。調査結果では、河川の汚れの程度を表す「BOD」(※1)を重要視しています。

市内を流れる小野川(全域)BODの「環境基準値」(※2)は、「2mg/ℓ以下」、稻荷川は「3mg/ℓ以下」としています。

平成25年度の調査結果では、市内の河川の水質はおおむね良好でした。また、小野川(上流・下流)を含めた河川のBOD値は3mg/ℓ以下で、汚濁が少ない河川として評価できます。

平成24年度のデータと比べると、表1の河川のうち、8河川は、BODの値が下がり(水質が改善したという意味です)、1河川は変わりませんでした。残りの2河

川(太田川、桂川)は、BODの値は上がっていますが、いずれの数値も0・1mg/ℓの上昇でした。調査結果から、市内10河川の水質には大きな変化は無く、おおむね良好な状態といえます。

◆美しい水辺環境を守るために 私たちが心掛けること

工業や農業はもちろん、私たちの生活も河川の水質に何らかの影響を与えています。例えば浄化槽を利用して世帯全てが、年に数回の保守点検と年1回の清掃、法定検査を実施することで、河川の水質が良好な状態を保つことができます。

私たち1人1人が環境に関わっていることを自覚し、行動することで、市内の美しい水辺環境を守ることができます。

問 環境政策課 ☎内線1561



小野川

(※1)…BOD(生物化学的酸素要求量)とは、水中にある有機物をバクテリアが分解するのに必要な酸素の量をいい、この値により、水中にある生物化学的な分解を受ける有機物の量を示します。水の流れがある河川などの汚濁の程度を判断するための指標です。

(※2)…環境基準値は、河川(公共用水域)の生活環境の保全に関する環境基準として、利用目的の適用性により、AAからEの類型に分類され、小野川(全域)は類型がAに、稻荷川はBに指定されています。

【河川の水質基準】

区分	BOD(生物化学的酸素要求量)
AA 類型	1mg/ℓ以下
A 類型	2mg/ℓ以下
B 類型	3mg/ℓ以下
C 類型	5mg/ℓ以下
D 類型	8mg/ℓ以下
E 類型	10mg/ℓ以下

表1. 市内各河川のBOD 値経年変化(年平均)

(単位: mg/ℓ)

河川名	23年度	24年度	25年度	環境基準
刈谷川	1.6	1.8	1.8	—
稻荷川	1.8	2.8	1.2	B 類型3mg/ℓ以下
根古屋川	1.4	1.9	1.1	—
遠山川	2.0	1.9	1.5	—
柏田川	1.7	1.6	1.4	—
結束川	1.5	1.3	1.2	—
太田川	1.8	1.2	1.3	—
桂川	2.1	1.9	2.0	—
乙戸川	2.7	2.2	1.9	—
小野川(上流)	2.3	3.1	2.3	A 類型2mg/ℓ以下
小野川(下流)	2.0	2.1	1.7	A 類型2mg/ℓ以下

※「—」は環境基準が指定されていません。